

今、中四国の大学図書館が面白い
<http://simone.lib.okayama-u.ac.jp/>
<http://scsjanul.blogspot.com/>

★★★ 社会連携事業による ★★★
検索エンジンの利用と期待

岡山大学附属図書館 北條充敏

事例報告の内容

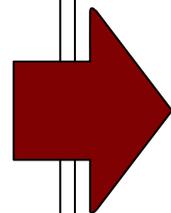
- **池田家文庫絵図関連の事業**
 - 大学・図書館指向から顧客指向に変化する社会連携事業
 - こども後楽園ワークショップ／まち歩き歴史講座の開発
 - 岡山県立図書館等との連携事業
- **国大図協中国四国地区協会事業委員会Sグループの活動**
 - **Google**ブログによる事業実績広報
 - **Google**トークによるグループメンバーによる会議
 - ネットツール利用への期待と課題
- **各種ツール(サービス)等の紹介**
 - 書籍・マニュアルの公開手段 — **flipper**(電子ブック)
 - インターネット遠隔講習会 — **WebEX**講習
 - リファレンスツール — **Springshare LibGuide**紹介

大学・図書館指向から顧客指向に変化する社会連携事業

社会を取り巻く環境の変化

技術の発展・サービスの多様化
ネット普及で便利な生活
国際交流機会の増加、身近なものに
生涯学習、専門教育意欲の向上
環境(教育も含む)への関心の高まり

少子高齢化▶労働力の減少
国内人口減少へ転換▶生産力の低下
生活への不安感(安心・安全の言葉)
大都市と地方の格差
労働を取り巻く状況の変化
地球環境の変化(温暖化減少)
経済活動の変化



大学図書館サービスは

(地域サービスも変化と柔軟に)
大学指向から考え方を变える
顧客の意見を取り入れる方向
電子、ネットサービスの充実・活用
地域貢献は重要、広報PRが大切



岡山大学附属図書館では

- ・貴重資料を中心にした社会貢献
(複製絵図の活用を工夫する)
- ・地域のニーズに応える
- ・地域住民・学生が主役
- ・地域の活性化に貢献したい
- ・持続可能な発展と地域貢献

岡山大学附属図書館での地域貢献事例(電子事業+イベント型へ発展)

貴重資料関連

1. 池田家文庫絵図デジタル画像の共同作成(H14~H16)
2. 岡山県、岡山市との文化事業協力協定(H16)
3. 池田家文庫特殊文庫絵図展(H9~H16)
4. 岡山市デジタルミュージアムでの池田家文庫絵図展(H17~)
5. 池田家文庫こども向け岡山後楽園発見ワークショップ(H18~)
6. 公開講座「池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう」(H20~)
7. 複製絵図を活用した地域に特化した教育普及(H17~)
8. 真庭市との三浦家文庫電子化(H20~)

電子情報関連

1. 岡山県内横断検索システムへの参加(県立図書館)(H14~)
2. 岡山大学成果情報の岡山県立図書館システムへ提供(H18~)

図書館サービス関連

1. 岡山県内相互貸借配送便への参加(県立図書館)(H17~)

取り組み紹介①

池田家文庫こども向け岡山後楽園発見ワークショップ



平成16年度から貴重資料の教育普及を実施

- 年一回の展示会だけでは地域貢献度は低い。
- 当初は学校との連携を考えた(複製絵図の利用)。
- 学校教諭にとって絵図は関心はあるが難しい。
- 教育普及は「地域間チームワーク形成」が重要。
- 教育普及の方法について教育学部教員と再考。

平成18年度に絵図後楽園ワークショップを立ち上げ実施

- ワークショップでは参加者(子供・保護者)と全員参加。
- 地域の活性化(子供の文化力向上)につながる。
- 「岡山大学≡池田家文庫」の存在感につながる。
- チームワーク(教員・学生・図書館員等)を作る。
- ESD(Education for Sustainable Development)事例

取り組み紹介①

池田家文庫こども向け岡山後楽園発見ワークショップ



会場：岡山後楽園（現場でやることの意味は大きい）

現代と絵図に書かれた後楽園の同じところと違うところを、**岡大生と小学生**が一緒に比較・発見・発表するワークショップ。岡大生にとっては子供を扱う実習授業。毎年、夏と冬の2回実施。これまでに5回の実績がある。NHK岡山・昼ローカルニュースでも取り上げ。

第1回目	平成18年12月	3日（土）	子供5名/大人4名
第2回目	平成19年	7月 8日（土）	子供15名/大人9名
第3回目	平成19年12月	9日（土）	子供34名/大人37名
第4回目	平成20年	7月13日（日）	子供24名/大人36名
第5回目	平成20年12月	14日（日）	子供5名/大人4名

参加者保護者のアンケートは、「好意的な評価」「普段知らなかった江戸時代の後楽園を知れて新鮮だった」が多い。

ごこう えん え ず ぶんぎゅう おかやまだいがく ぶぞくとしよかん しょぞう
御後園絵図 文久3年(1863) 岡山大学附属図書館 所蔵

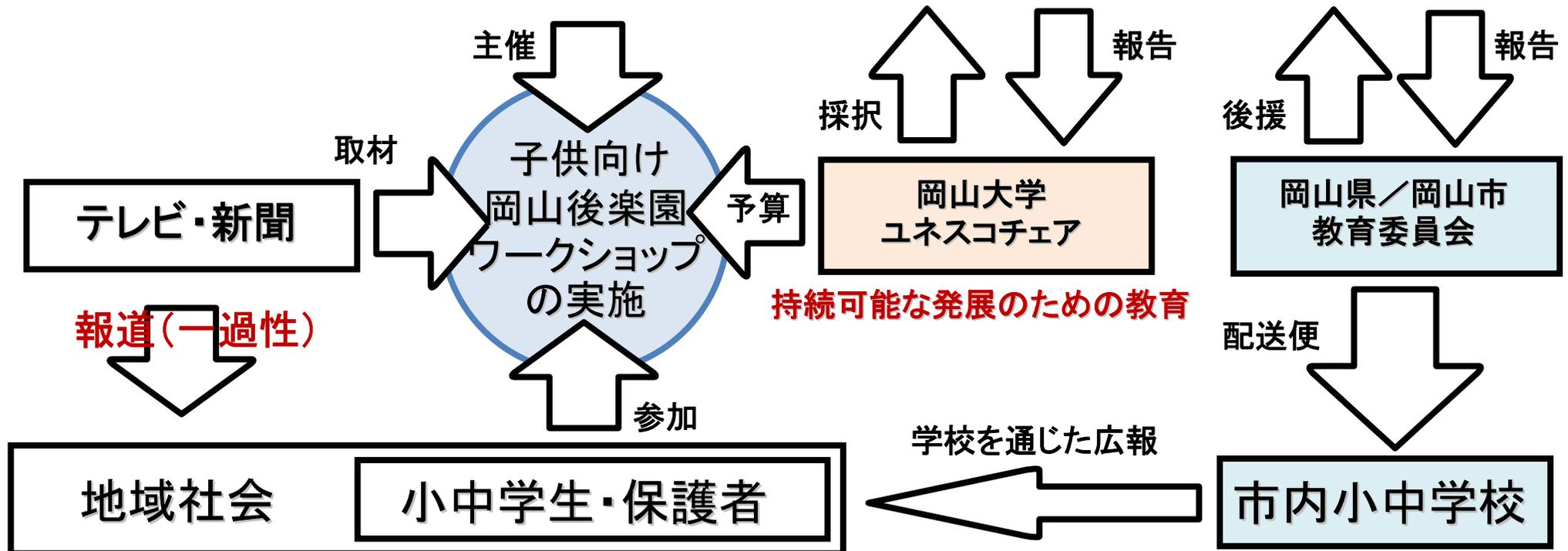
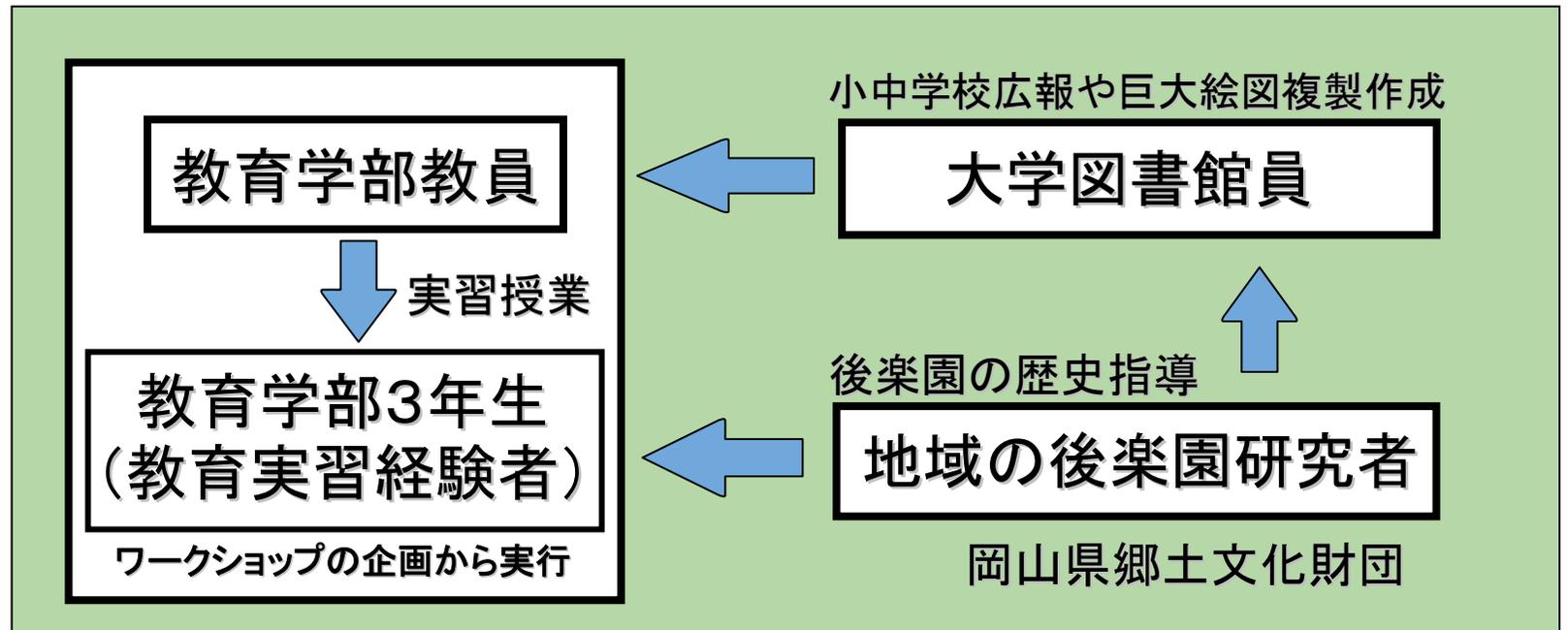
みんなは、岡山後楽園がいつ作られたか知っていますか？ 岡山後楽園は、江戸時代・中頃に、池田綱政というお殿様が、家来の津田永忠に命じ、貞享4年(1687)に工事をはじめて、元禄13年(1700)にできました。江戸時代は、「御菜園場」や「御後園」とよばれていました。幕末になってようやく現在のような庭となりました。この絵図には、幕末のころの後楽園の様子が描かれています。



- | | | | |
|-----------------|---------------------|-----------------|----------------------|
| ① 茶畑
せいでん | 茶畑では、お茶が栽培されました。 | ⑦ 観騎亭
かんしやてい | お殿様が家来の乗馬をみていた建物です。 |
| ② 井田
りゅうてん | 井田では、お米や野菜がとれました。 | ⑧ 観射亭
かんしゃてい | お殿様が家来の弓をみていた建物です。 |
| ③ 流店
ゆいしんざん | 田植えの足洗いや休息に使われました。 | ⑨ 御舟入
おふねいり | お殿様は岡山城から舟で入りました。 |
| ④ 唯心山
ざわのいけ | 遠くの風景や花火を楽しみました。 | ⑩ 延養亭
えんようてい | お殿様が休息をしていた建物です。 |
| ⑤ 沢の池
いけだつなま | 沢の池には、鶴や白鳥が飛んできました。 | ⑪ 能舞台
のうぶたい | 大名にとって、能は大切な教養でした。 |
| ⑥ 慈眼堂
ちやんげん | 池田綱政によって作られた観音堂です。 | ⑫ 仮橋
かりばし | 後楽園にいく農民や町民がわたった橋です。 |

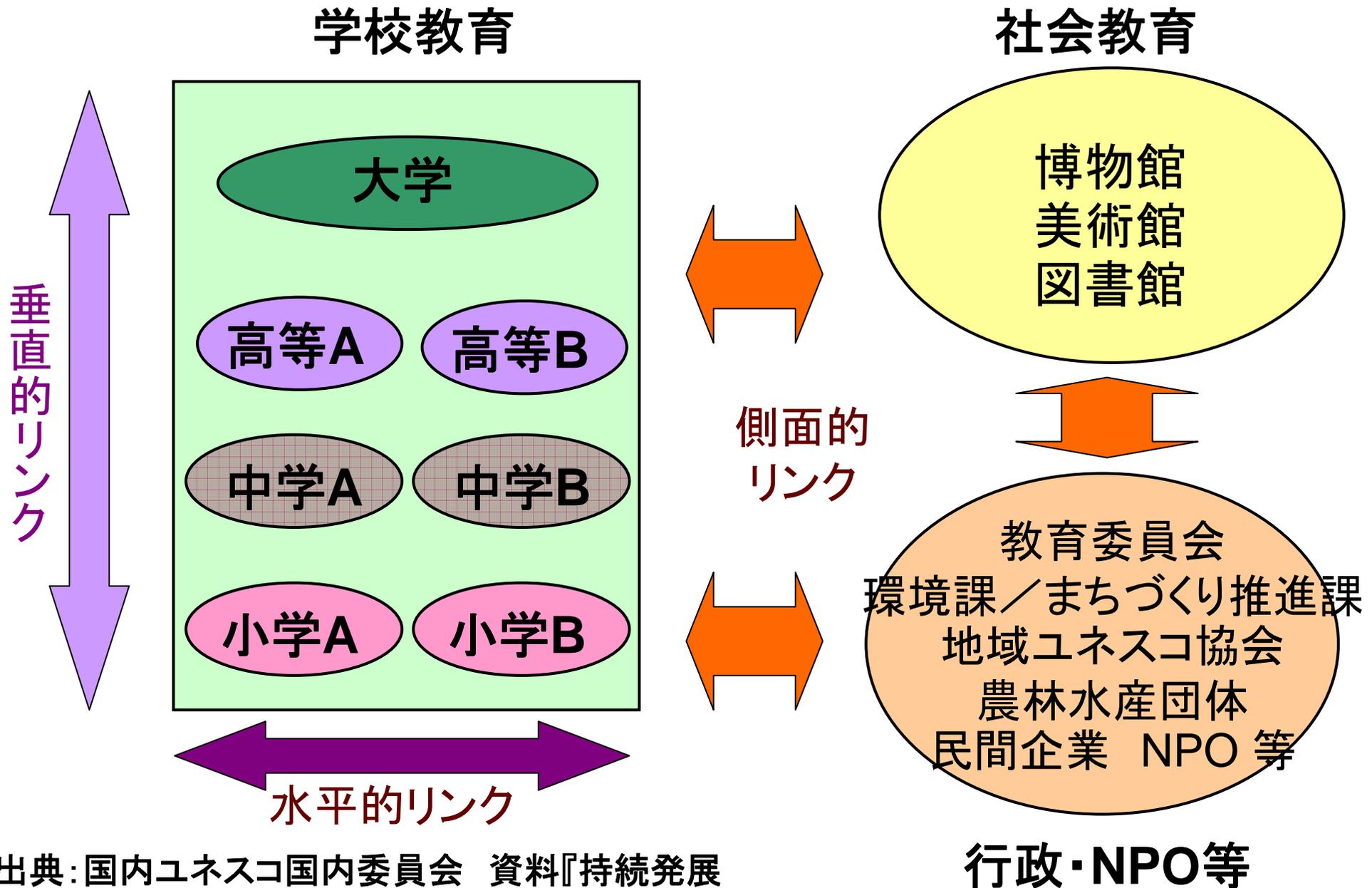


こども向け岡山後楽園発見ワークショップの実行体制



Education for Sustainable Developmentの考え方

持続可能な発展のための教育



出典：国内ユネスコ国内委員会 資料『持続発展教育について』（2008年2月）より

取り組み紹介①

池田家文庫こども向け岡山後楽園発見ワークショップ



実施結果の写真や教材は、実績報告などいろいろな場所で活用しているため、Picasaウェブアルバムに保存(非公開)して、資料作成や報告書作成の素材として利用。

A screenshot of a Picasa web album interface. The album title is "岡山後楽園発見ワークショップ2008 (夏)". The interface shows a grid of photo thumbnails. Two large photo thumbnails are overlaid on the left side of the screenshot. The top-left photo shows a group of people gathered around a large, ancient stone monument in a wooded area. The bottom-left photo shows a group of children and adults sitting on the floor in a traditional Japanese building, looking at a book or document. The right side of the screenshot shows the album's metadata, including the date "Jul 18, 2008", the number of photos "253 - 128 MB", and a QR code. The text on the right side of the screenshot reads: "岡山大学教育学部の3年生16名が授業の一環で考えた池田家文庫絵図「御後園絵図」(文久3年)を使ったこども向けの岡山後楽園を会場とした歴史ワークショップの様態を撮影したアルバムです。とても暑い日でしたが、みんな元気に楽しく活発に観察してくれました。将来、ここで学んだ小中学生が岡山大学に入学して、今度は教えられるようになればこのワークショップも次の展開へとすることでしょう。"

池田家文庫ブログニュース

岡山大学附属図書館所蔵の池田家文庫を活用した地域を対象とした広報のためのブログニュースです。池田家文庫は江戸時代に備前一国を所領していた岡山藩・池田家の藩政を記録した古文書や絵図からなるコレクションです。

2008年11月26日

➡ 池田家文庫絵図展『日本と「異国」』を開催

岡山大学附属図書館と岡山市デジタルミュージアムが共催する平成20年度池田家文庫絵図展『日本と「異国」』が、平成20年11月1日(土)～16日(日)の期間、岡山市デジタルミュージアム4階展示室で開催されました。今回の展示会では、池田家文庫の中にある江戸時代に木版や銅板を使って作られた世界図や日本図などの地図のほか、朝鮮通信使の岡山藩での接待に関する資料、江戸時代にパタン諸島(現・フィリピンの北)に漂流して日本に帰ってきた岡山藩の漂流民の記録資料など現物資料31点、複製資料2点を展示しました。会期中、県内外から約2,300名の入場があり、また開催初日の講演会にも65名の参加がありました。また、今回は岡山大学文学部日本史学専攻の学生に、展示実習の一環として、展示パネル作りにも参加してもらいました。すでに来年度も同様にテーマを決めて開催することとし、開催会期は平成21年度の開催会期は、平成21年9月29日(火)～10月18日(日)の予定です。



投稿者 岡山大学附属図書館 参考調査係  

0 コメント:

[コメントを投稿](#)

[次の投稿](#)

[ホーム](#)

[前の投稿](#)

登録: コメントの投稿 (Atom)

連絡先

岡山大学附属図書館 参考調査係
岡山市, 津島中3-1-1,
Japan

電子メール: [fbg7322\[at\]adm](mailto:fbg7322[at]adm)

電話番号: (086)251-7322

ファックス: (086)254-6152

 [詳細プロフィールを表示](#)



池田家文庫ブログのアーカイブ

[1月](#) (1)

[12月](#) (3)

[11月](#) (2)

[10月](#) (1)

[9月](#) (2)

[7月](#) (2)

[6月](#) (7)

[5月](#) (3)



図書館 ブログリスト

 [図書館からの新着情報](#)

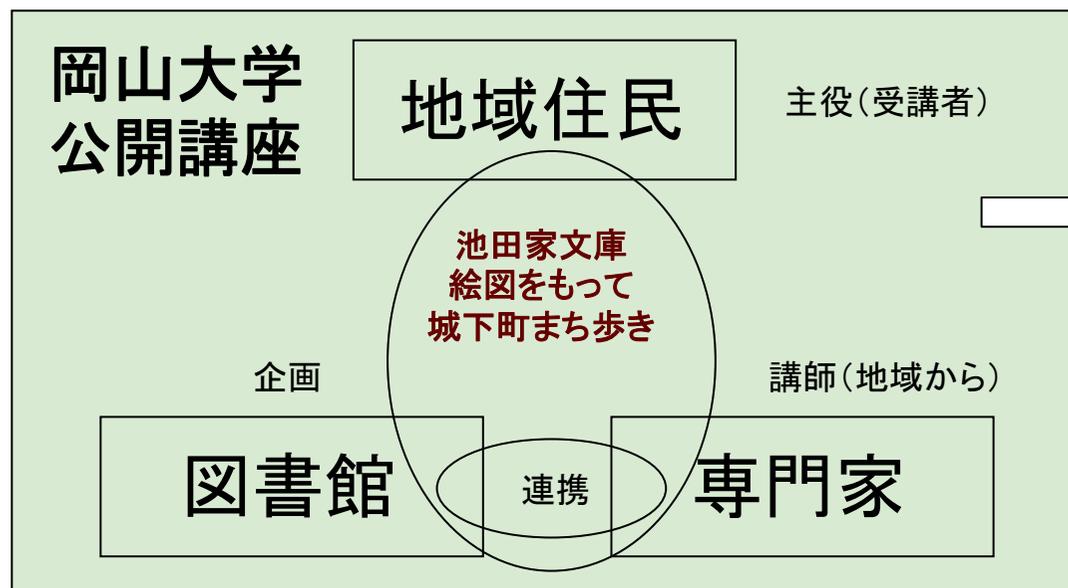
 [図書館講習会のご案内](#)

取り組み紹介②

池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう

会場：岡山市中心部（岡山カルチャーゾーン：旧城下町中心部）

一般を対象にした城下町岡山をまちを歩きながら、城下町絵図と現在を比較して、江戸時代の岡山について見識を深めるための図書館主催の岡山大学公開講座（5回シリーズ、参加料）。



- 池田家文庫を地域学習に活用
- 池田家文庫を身近に知る
- 地域・地元とのつながりを作る
- 地域住民の向学心の活性化
- 郷土岡山への愛着心を育む
- 大学、図書館を知ってもらう

継続し、実績を積む事が大切。
対社会への広報PRにつきる。

参加者のアンケートは、内容については「好意的な評価」、進行については「細かな要望」が寄せられた。要望は次年度に反映。

取り組み紹介②

池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう

実施結果について、Google blogger で保存・紹介。

- 第2回目 6月 絵図をもって岡山城を歩こう
http://ikedakebunko.blogspot.com/2008/06/blog-post_07.html
- 第5回目 11月 絵図をもって山陽道を歩こう
http://ikedakebunko.blogspot.com/2008/11/blog-post_26.html

岡山城中の段での講座

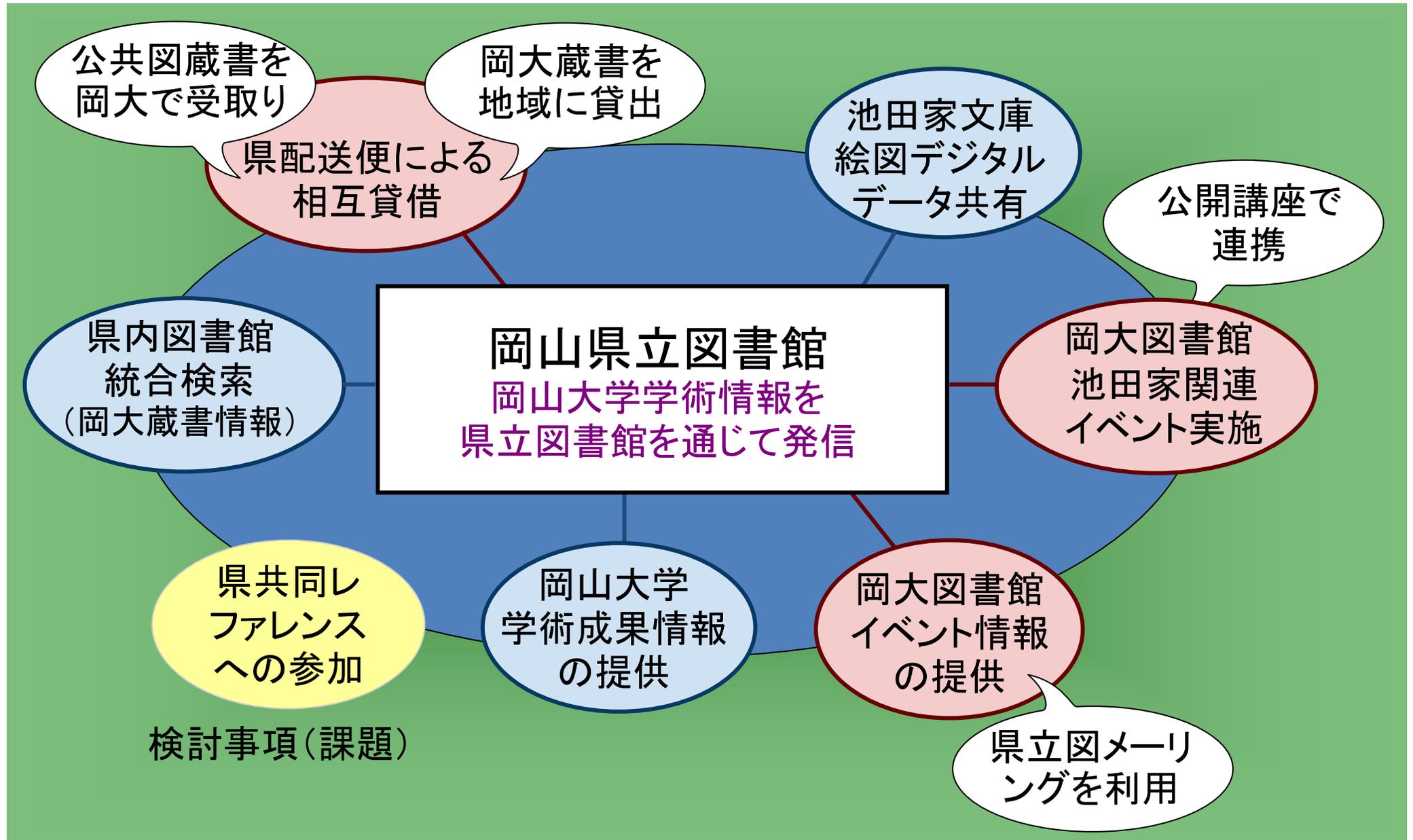


京橋・国清寺での説明



取り組み紹介③

岡山大学の県立図書館との連携事業



国大図協中国四国地区協会事業委員会Sグループの活動

- **Googleブログによるイベント情報発信、チャット会議**

国立大学図書館協会

中国四国地区協会

事業委員会

広報Aグループ
地域講習会Lグループ

地域連携Sグループ

電子情報Eグループ
出版事業Pグループ

- 参加館地域対象事業
広報のブログ立上げ
- メンバー間チャット会議

- 参加館地域連携促進啓蒙
- 参加館の地域向け情報
- 共同連携事業の開発

1. 中四国の様に離れているケースで有用。
2. 事前調整と接続(慣れ)に時間がかかる。
3. 複数人数の場合は、進行役が必要。
4. タイムラグがあり絶えず意志確認が必要。
5. 発言の記録をGmailに残せる。
6. 時折、チャットが切断される場合があった。
7. 通常の会議よりも時間がかかる。

地域連携グループ
4人で
Google Talkを使って
会議を試みた。



検索欄: [検索オプションを表示](#) [フィルタを作成](#)

メールを作成

受信トレイ
スター付き ☆

チャット

送信済みメール

下書き (1)

すべてのメール

迷惑メール

ゴミ箱

連絡先

チャット

検索、追加、招待

m houjou

ステータスの設定 ▼

bizan3408

小豆沢

森田

平成21年度大学入試センター試験による中央図書館休館について - 岡山大学附属図書館からの新着情報 -- 01/16

ウェブクリップ

「チャットに戻る」 その他の操作 ▼

(前 3 / 11 次)

bizan3408, 森田正, azuki7825 さんとのチャット

☆ ● m houjou To bizan3408, morittan255, azuki7825 [詳細を表示](#) 08/08/08

9:34 bizan3408 が参加しました
森田 が参加しました
自分: 現在3名接続のチャットになっていると思います。メッセージみれますか

9:35 あと小豆沢さんがオンラインになるのを待ちます

9:36 森田: 鳥大森田です。繋がりました。
自分: 森田さん、了解です。

9:39 森田: 松本課長、見えていますか?
bizan3408: 見えていますよ!

9:40 自分: 3名のグループチャットはできているようですね。

9:41 森田 が退出しました

9:42 森田 が参加しました

9:43 自分: 音声とちがって、相手の状況が見えないので絶えず意志確認が必要ですね。あと、途中で席を立つ場合はコメント入力を約束ごととしないといけないですね。短文でよいので「例: 少し席をはずれます」とかです。

9:44 森田: わかりました。今チャットが切れてしまいました。

9:45 自分: 森田さんそちらのGoogle Talkガジェットに「グループチャット」のラベルは表示されて

別のウィンドウで開く

すべて印刷

スポンサーリンク ([ご意見](#)・[ご感想](#))

業務改善もサイボウズで

業務課題解決のヒントはここにある!
サイボウズガルーンシリーズ新登場
g.cybozu.co.jp

東京大学卒業生 限定SNS

昔の旧友や新たな友人と出会えます。
東大OBネットへご登録を!
today-ob.net/

月315円からのeラーニング

無制限イントラ版・ASP版LMS提供!
高性能・低コストe-learningシステム
elearningmanager.jp/

地域との連携・地域への貢献

本ブログは中四国地区の国立大学図書館が実施している中四国地域の催し事などの実施成果を一般公開するものです。また、中四国地区の国立大学図書館全体の地域社会との連携や貢献の活動記録(実績成果)として保存するためのブログです。

2009年1月14日

投稿日・参加館名・タイトル

地域連携ブログアーカイブ

➡ **【鳥取大学医学図書館】医療・健康情報提供のスキルアップ講座報告**

写真ショット



鳥取大学附属図書館では、11月14日に「地域を支える情報拠点としての図書館サービスの展開」事業として「医療・健康情報提供のスキルアップ講座」を開催しました。午前の部(会場:鳥取大学医学部旧保健学科棟コンピュータ演習室)

では、国立国会図書館の辰巳公一講師による「公共図書館での医療・健康情報提供サービスのための資料整備とレファレンス支援ツール」と題した講義を、パソコンを使って医療・健康情報の検索方法や支援ツ

びました。午後の部(会場:米子市立図書館)では、鳥取県立図書館の野沢敦講師による「鳥取県立図書館と県内市町村図書館の健康情報サービスの現状」と題した講義で、鳥取県内公共図書館の副病記文庫等の開設状況や今年度の全国図書館大会の報告など最新の情報提供を受けました。つづいて愛知医科大学医学情報センターの市川美智子講師による「医療・健康に関する地域連携パスファインダーの作成について」の講義では、地域連携パスファインダー作成の背景や目的を学び、グループに分かれ各自用意してきた「脳



卒中」に関する図書を使っての実習を行い、パスファインダーの作成方

月別投稿数

[1月 2009 \(1\)](#)

[12月 2008 \(3\)](#)

[11月 2008 \(3\)](#)

[10月 2008 \(1\)](#)

[8月 2008 \(1\)](#)

[7月 2008 \(5\)](#)

[6月 2008 \(3\)](#)

[5月 2008 \(6\)](#)

[1月 2008 \(4\)](#)

[12月 2007 \(2\)](#)

概要記録

図書館ホームページ

➡ [\(A\) 鳥取大学附属図書館](#)

➡ [\(B\) 島根大学附属図書館](#)

➡ [\(C\) 山口大学図書館](#)

➡ [\(D\) 岡山大学附属図書館](#)

➡ [\(E\) 広島大学図書館](#)



国立国会図書館の辰巳公一講師

検索

検索オプション
表示設定

ウェブ全体から検索 日本語のページを検索

ウェブ

国立国会図書館の辰巳公一講師 の検索結果 約 3,940 件中

2 結果 件の結果がコンピュータ上に見つかりました - 非表示 - 概要



[地域との連携・地域への貢献 - の部](#)(会場: 鳥取大学医学部旧保健学科棟コンピュータ演習室)では
[地域との連携・地域への貢献: 2009/01 - の部](#)(会場: 鳥取大学医学部旧保健学科棟コンピュータ演習室)

[地域との連携・地域への貢献:【鳥取大学医学図書館】医療・健康情報 ...](#)

午前の部(会場: 鳥取大学医学部旧保健学科棟コンピュータ演習室)では、**国立国会 図書館の辰巳公一講師**による「公共図書館での医療・健康情報提供サービスのための資料整備とレファレンス支援ツール」と題した講義を、パソコンを使って医療・健康情報の ...

scsjanul.blogspot.com/2009/01/blog-post.html - 52k - [キャッシュ](#) - [関連ページ](#)

[図書館員の研修 | 国立国会図書館-National Diet Library](#)

平成20年度中に各図書館で実施予定の「レファレンス業務に係る研修」に、**国立国会 図書館の職員を講師**として派遣いたします。この派遣の対象となる **国立国会 図書館**における収集・利用(当館主題情報部科学技術・経済課 科学技術係長 **辰巳公一**) ...

www.ndl.go.jp/jp/library/training/library_training_guide.html - 173k - [キャッシュ](#) - [関連ページ](#)

[図書館へのお知らせ | 国立国会図書館-National Diet Library](#)

講師はエジプト高等文化評議会エマード・アブー・ガズィー博士(兼カイロ大学文学部**図書館**・文書学・情報学学科助教授)で、定員は50名程度です。..... **国立国会図書館**における収集・利用(当館主題情報部科学技術・経済課 科学技術係長 **辰巳公一**) ...

www.ndl.go.jp/jp/library/lib_training_htry.html - 126k - [キャッシュ](#) - [関連ページ](#)

www.ndl.go.jp からの検索結果 >

[地域を支える情報拠点としての図書館サービスの展開事業「医療・健康 ...](#)

2008年10月22日 ... 10:15~12:15「公共図書館での医療・健康情報提供サービスのための資料整備とレファレンス支援ツール」. **講師**: 辰巳公一 氏(**国立国会図書館** 主題情報部科学技術・経済課 科学技術係 係長). ○午後の部 米子市立**図書館**会議室 ...

www.tottori-u.ac.jp/dd.aspx?itemid=2117 - 73k - [キャッシュ](#) - [関連ページ](#)

旬な情報は、検索エンジンのランクも上位に

大学広報、図書館広報など幅広く掲載することは大切

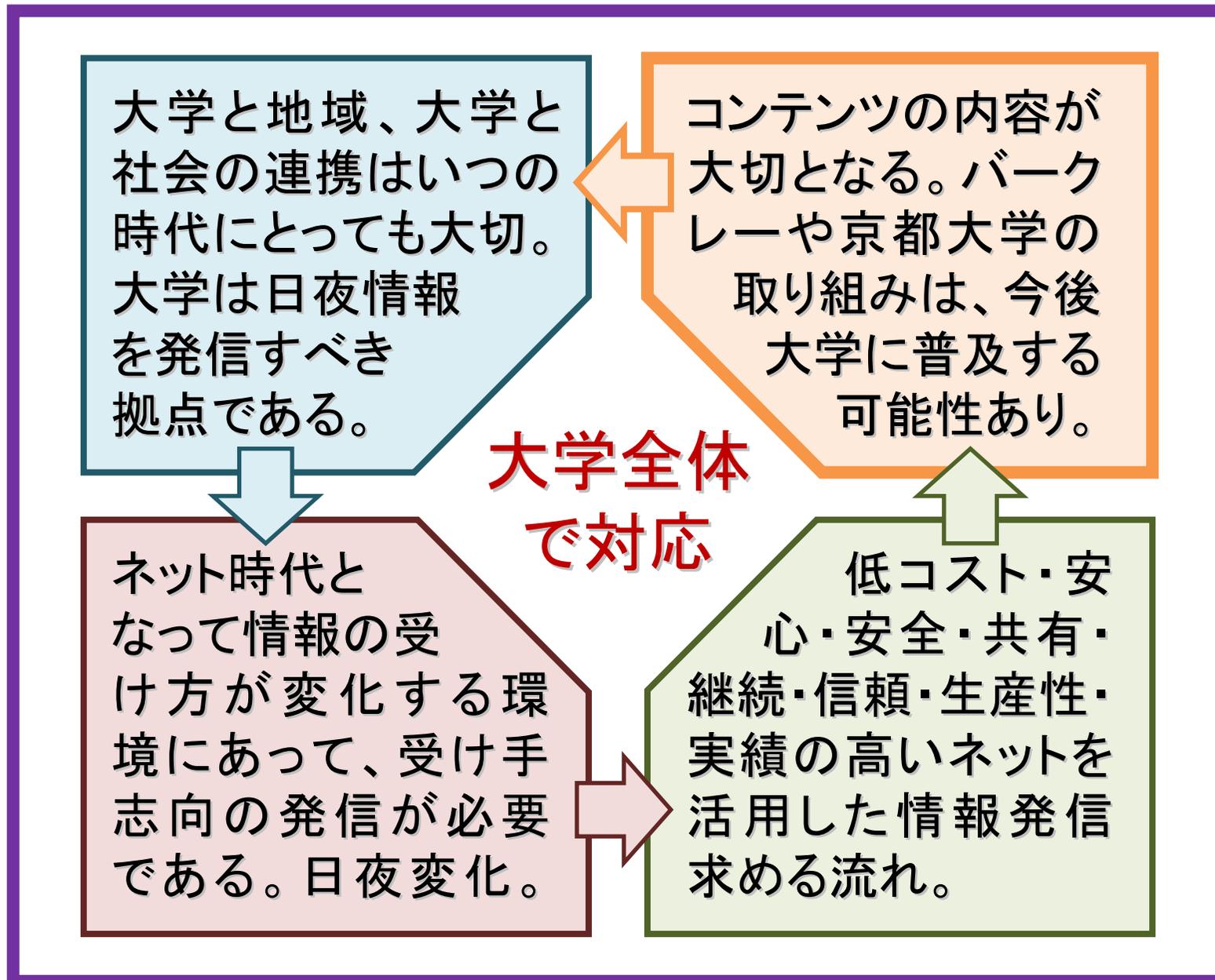
- 投稿のための技術的な知識は必要ない。

The screenshot shows a web posting interface with several key elements and annotations:

- Navigation Bar:** Includes tabs for "投稿" (Post), "設定" (Settings), "レイアウト" (Layout), and "ブログの表示" (Blog Display).
- Action Bar:** Contains "作成" (Create), "投稿を編集" (Edit Post), and "コメントの管理" (Manage Comments).
- Title Field:** A text input field labeled "タイトル:" with an annotation box pointing to it that says "タイトルを入力(図書館名必須)" (Enter title (library name required)).
- Rich Text Editor:** A toolbar with icons for bold (b), italic (i), link, image, and video, followed by an annotation box that says "リンク、画像、動画" (Link, image, video).
- Main Content Area:** A large text area for writing the post, with an annotation box pointing to it that says "ニュースを入力" (Enter news).
- Footer:** Includes a "投稿オプション" (Post Options) section with a label field (example: カフェ, 旅行, 秋) and a "すべて表示" (Show all) link. Below this are buttons for "投稿を公開" (Publish Post) and "すぐに保存" (Save Now), along with a message: "下書きは 17:06 に自動的に保存されました" (Draft was automatically saved at 17:06). A link "投稿のリストに戻る" (Return to post list) is also present.

- サーバをもつよりも安心・安全。

ネットツール利用への期待と課題



Flipper2 Maker電子ブック紹介

- 岡山大学ではリテラシー読本、図書館報等に利用。
- 通常の電子ブック作成ソフトより安価である。
- 変換作業・公開が簡単。
- 昨年4月からPDFからも変換可能となった。
- 本を見る感覚で閲覧可能(付加機能あり)。
- ページ内全文検索機能、付箋機能
- CD/DVDでの配布
- **最新版: Flipper3 全文検索エンジン対応**

デモンストレーション

The screenshot displays the FLIPPER2 Maker software interface. The main window shows a book preview titled "岡山大学附属図書館報「楷」No.46" with 18 pages. A "ブック" (Book) button in the top-left toolbar is circled in red. A red arrow points from the title "デモンストレーション" to this button. Another red arrow points from the "ブック" button to the "ブックの設定" (Book Settings) dialog box.

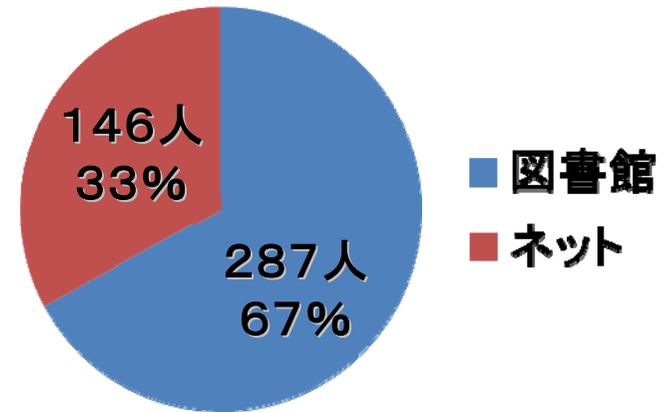
The "ブックの設定" dialog box is open, showing various settings for the book. The "ブック動作" (Book Action) tab is selected. The settings include:

- 開き方** (Opening): 左とじ (Left binding), 右とじ (Right binding)
- 開始ページ** (Start Page): 片面 (Single page), 両面 (Double page)
- 目次** (Table of Contents):
 - ビジュアルインデックス (Visual Index) [ラベル]
 - テキストインデックス (Text Index) [ラベル]
 - 初期状態でツリーを開く (Open tree by default)
 - 付箋インデックス (Sticky Note Index) [ラベル]
- 機能** (Features):
 - 手書きメモ・付箋機能 (Handwritten notes/sticky notes)
 - テキスト検索 (Text search) [ラベル]
 - 印刷 (Print)
 - フルスクリーンボタン (Full screen button)
 - 友達にURLを教える (Teach URL to friends)
 - ヘルプ (Help)
 - ヒントのポップアップ (Hint pop-up)
 - リンクのポップアップ (Link pop-up) [0 (秒)]
- ページめくり** (Page turning):
 - 音を鳴らす (Play sound)
 - アニメーション速度: 2
 - 自動ページめくり (Auto page turning)
 - 速い: 2 (秒), 遅い: 5 (秒)
 - クリック時の動作: 何もしない (Do nothing)
- 表示** (Display):
 - ノンブル表記 (Non-numbered)
 - ブックの影 (Book shadow)
 - ブックの厚み (Book thickness)
 - ページラベル表記: ラベル / 総ページ (Label / Total page)
 - 総ページを指定 (Specify total page) [100]

The dialog box also has "設定" (Settings) and "キャンセル" (Cancel) buttons at the bottom. The main preview window shows the book cover with a pink flower illustration and a table of contents below it.

WebEX講習会(トムソンロイターとの遠隔講習会)

- インターネット会議システムを講習会に応用。
- 地方の場合、講師派遣の問題がある。
- ブロードバンドの時代ネットを活用しない手はない。
- WebEXはトムソンロイターが提供。
- 大学院生に焦点をあてた。
- 「Web of Science」「EndnoteWeb」を対象とした。
- 張り紙や個別にカウンターでPR。
- キーパーソンを捕まえると継続実施が多い。



4～12月実施分

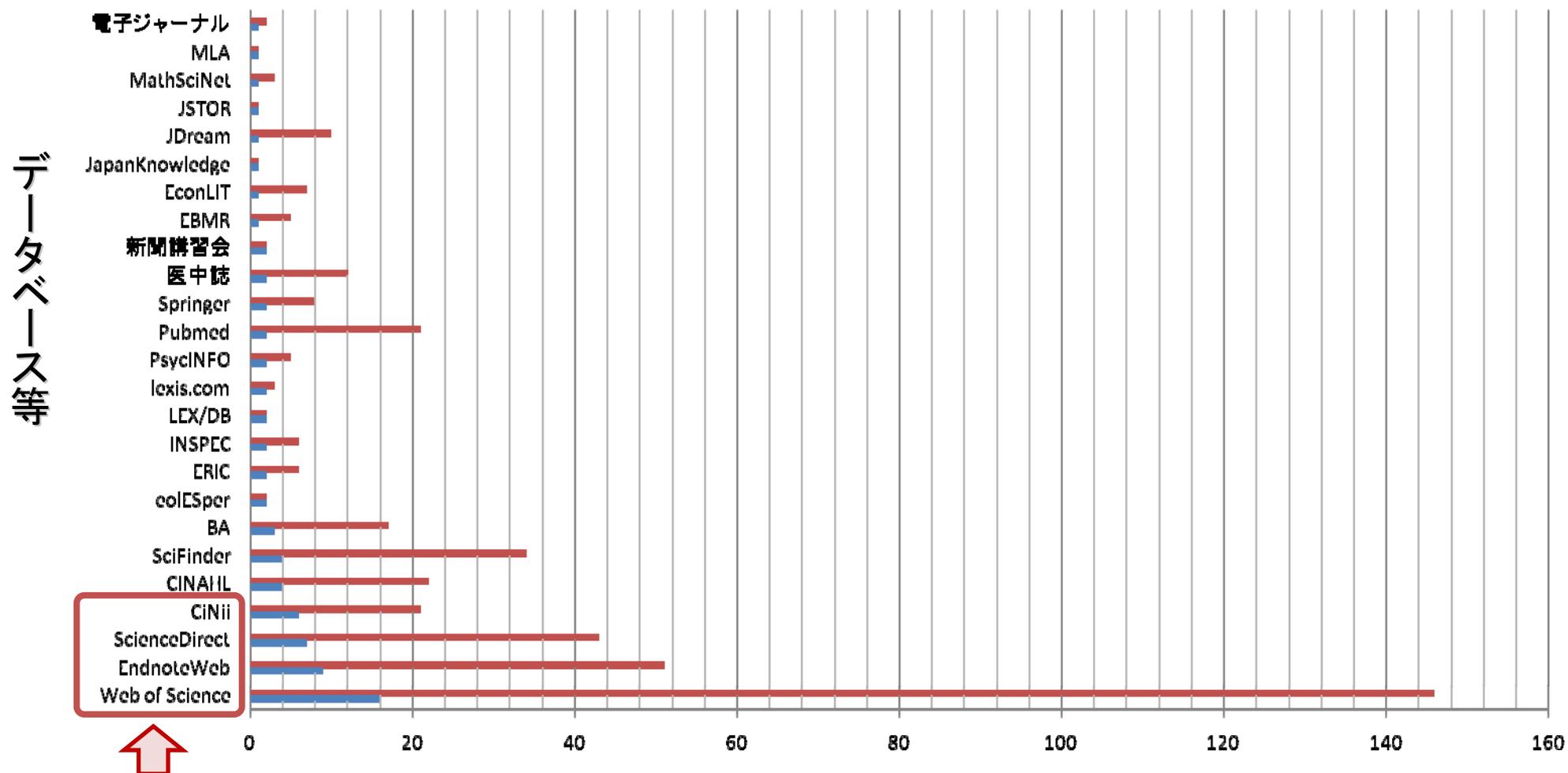
これまでに21回実施

1. 研究室を対象に実施(化学、薬学分野)
2. 授業として実施(農学)
3. 外国人を対象として実施(海外と接続)
4. 助産士(社会人学生)を対象として連続実施
5. 大学院生グループ(薬)を対象に実施

- 関心ある内容でわかりやすい。
- 思ったより音声がよい。
- その場で質問できる。
- 少人数なので質問しやすい。
- リポート指導が嬉しい。
- 学生と一体感が強く感じられる。

WebEX講習会(トムソンロイターとの講習会)

4～12月実施分 ■人数 ■回数



院生に重点的に指導すべき基礎的な文献データベース

人／回



岡山大学附属図書館とトムソン・ロイター社*1は、岡山大学ユーザ（大学院生以上の論文執筆者）を対象とした、ユーザの習熟度にあわせたウェブベースのインターネット講習会をはじめます。この講習会ではオンライン会議ツール「WebEx」を用いて実施します。

*1 Web of Science で有名なトムソン社は英・大手通信会社ロイターとビジネス統合して、トムソン・ロイターとなりました。

参加者募集

毎月最終金曜日、月曜日は
WebEX トレーニング
の日です。



インターネット講習会の特徴

- ・研究室や図書館で受講できます。
- ・毎月最終月曜日と金曜日の午前9時～19時に対応します（予約先着制）。
- ・利用者の希望テーマに沿った研究ベースの講習を行います。
- ・Thomson Scientific 社の経験豊かなトレーナーが指導します。
- ・WebEX 接続サポートを図書館職員 / WebEX 社が行いますので安心です。
- ・研究室グループや授業としても受講できます。
- ・受講内容について通信内容は暗号化して講習終了後に消えます。
- ・この講習システムは中間に WebEX 社サーバがあります（下図参照）。
- ・受講料は無料です。

インターネット講習会の内容

- ・Web of Science による文献の検索・キーワードの選択方法や検索結果の分析方法を指導します。
- ・Endnote Web を用いた文献整理や共有の方法を指導します。
- ・Journal Citation Reports / Essential Scientific Indicators を用いた研究動向の探索法を指導します。

岡山大学キャンパス
教員・大学院生（学生）
（津島・鹿田・倉敷・三朝）

WebEX 社サーバ（海外）

Thomson Reuters 社
講師（東京オフィス）

インターネット（Internet）

トムソンロイター以外

サイエンスダイレクト
＜検討する＞

Ovid Technologies 英のみ
＜検討する＞

SciFinder Scholar 英のみ
＜日本語はしない＞



場所に左右されなく
同一分野、同一目的（例：
論文作成のための学生）
をもつユーザを対象にした
講習会開催も可能。

農林水産省 198/33,751

防衛省 239/32,835

京都大学 1,154/60,665



文部科学省 402/67,050

バークレー 19,478/2,033,499

YouTubeチャンネルの事例



デューク大学 153/10,618

法務省 75/12,458

デューク大学図書館

明治学院大学 185/24,449



Springshare LibGuide紹介

web 2.0 for library 2.0

- Web2.0を活用した学術情報コミュニティサービス
- 安価（FTE方式ライセンス/学生1人10円）
- ホストサービス
- 英語圏で採用拡大（2007 88Site→2008 464Site）
- サイト内の日本語検索ができない
- でも、検索エンジンから検索は可能

デモンストレーション